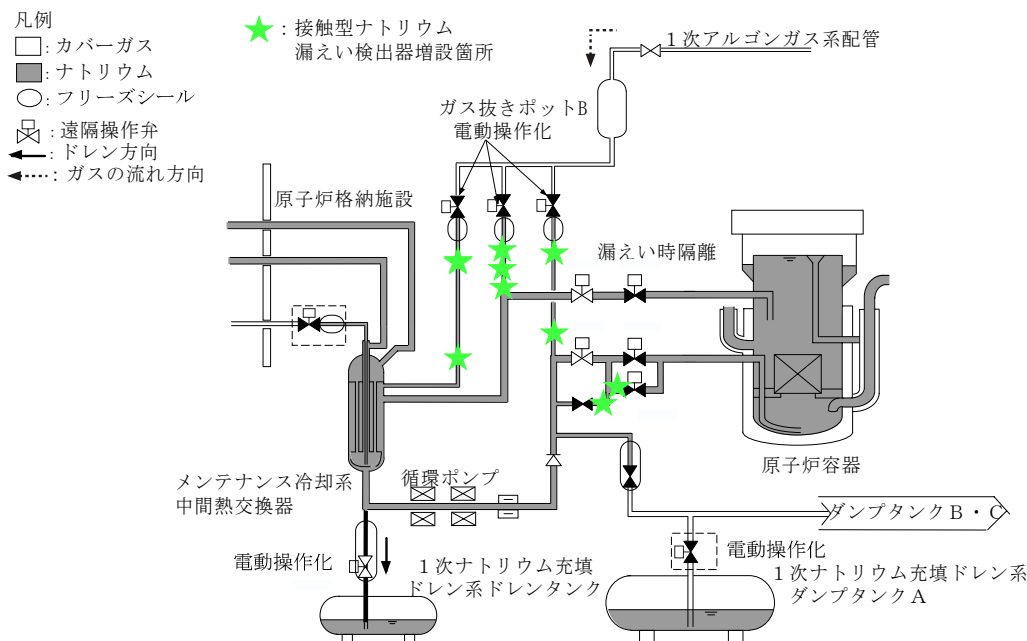


試験件名	メンテナンス冷却系関連試験 (1次メンテナンス冷却系接触型ナトリウム漏えい検出器機能確認試験)	当該試験の速報回数	1
試験目的	1次メンテナンス冷却系の一部の配管と弁は1次冷却系Bループの機器・配管と同一の部屋に設置されていることから、ナトリウムが漏えいした場合の系統識別性を向上させるために追設した接触型ナトリウム漏えい検出器 (CLD) が機能することを確認する。		
試験範囲	中央制御盤、総合漏えい監視盤、現場のナトリウム漏えい検出設備制御盤		
主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
1 接触型ナトリウム漏えい検出器確認試験	模擬ナトリウム漏えい信号を入力し、中央制御盤に警報が発報されること及び当該部位のナトリウム漏えい情報が、現場のナトリウム漏えい検出設備制御盤、総合漏えい監視盤に表示されることを確認する。	ナトリウム漏えい信号が正しく表示されることを確認した。	平成19年3月15日 試験完了



接触型ナトリウム漏えい検出器設置位置概略図

(解説) 接触式ナトリウム漏えい検出器は、漏えいしたナトリウムが検出器の電極間に付着し接点が通電することで検知する検出器。機器・配管からの小漏えい以上の検出のためにタンク底部、弁のペローズシール近傍、配管の下部に設置し、検知すると警報を発信する。

